

公正

自由

自治

我々の志は公正なる人格の陶冶と優秀なる工業技術の習得にある。

(「武蔵高工学友会・会誌創刊号」の及川恒忠の所懐より)

真に自由なる人はまず真に自尊の人、即ち自己に恥じることを知っている人にして初めて自由たりうる。

(「武蔵高工学友会・会誌創刊号」の打村鉱三の所懐より)

諸君は完全に、正確に自治的であってほしい。眞の自由を心ゆくばかり享樂するがいい。

(「武蔵高工学友会・会誌創刊号」の打村鉱三の所懐より)

建学の精神、「公正・自由・自治」の由来

建学の精神「公正・自由・自治」は創立者及川恒忠によって作られた。及川は最初、慶應義塾の鎌田栄吉塾長に「独立自尊」を揮毫して貰い学校の正面玄関に額として掲げたが、これは慶應義塾の建学の精神で其の儘もって来る訳にはいかない。そこで「礼儀・廉恥（節操高く恥を知ること）」と「独立自尊」を結びつけて「自由・廉恥」としたかったが、それでは難しいということで「自由・公正・自治」を創造した

(『武蔵工業大学30年史』掲載の英修道の記述より)

